

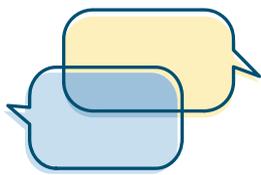
ぎかい TIMES

令和5年9月1日発行 No.70



CONTENTS

旭市子ども議会…2 6月定例会 議案審議…5 常任委員会審査Q&A…6 審議結果一覧…7 市政を問う！一般質問…8



次代を担う若い声を市政に!

令和5年度 旭市子ども議会

7月31日に令和5年度子ども議会が開催されました。一般質問を行ったのは、市内小・中学校20校から選ばれた20名の子ども議員で、議場で行われる定例会本番さながらの一般質問の模擬体験をしました。議事進行役は旭市議会の木内欽市議長が務め、市長をはじめ各課長が質問に対して答弁にあたりました。



琴田小 議員

人口減少対策の取り組みを

市では人口減少を食い止めるためにどのような対策をとっていますか。旭市の良さに気づいてもらうために、スタンプラリー等のイベントや子育て世帯が安心して利用できる公園をつくることも効果的ではないでしょうか。

▶企画政策課長

人口減少防止と活力あるまちづくりに向かって様々な事業を行っています。イベントはコロナで中止になっていたものも、順次開催されているところです。公園は各地域に大小あり、引き続き安全対策を行っていきます。

道路環境の改善を

私の近所には危険だと感じる道路があります。その道は木や草が路側帯まで生い茂り、通るときは車道へはみ出して歩くことになります。このような危険な道は市内に多くあると思います。見つけて整備できないでしょうか。

▶建設課長

市では通学路を警察や学校の先生、保護者の方々等と合同で定期的に点検しています。点検の結果をもとに、整備を行っています。今後も地元や学校等と連携し安全対策に努めていきたいと思っています。



中央小 議員

耕作放棄地を減少させる取り組みは

最近、耕作放棄地が年々増えてきており、草や竹が生い茂っているのをよく見かけます。草や竹で中がわからず、犯罪等に使われているかもしれません。旭市では耕作放棄地が少なくなる取り組み等はしているのでしょうか。



富浦小 議員

▶農業委員会事務局長

耕作放棄地になりかけている農地がないかパトロールしたり、農地を貸したい方へは借りたい方を探す等未然に防ぐ取り組みを行っています。また、農地を再生してくれた方に対し、経費の一部を支援しています。



干潟小 議員

公共施設のバリアフリー化を

干潟小には車椅子を利用している児童がいます。昇降口はスロープがありますが、体育館の入り口はスロープがありません。市内の施設等でも同様に困っている人がいるのではないのでしょうか。

▶教育総務課長

バリアフリー化として、トイレの洋式化や手すり、スロープの設置等、たくさん使われるところを優先的に整備しているところです。困っている場所があれば改修できるよう検討してまいります。

質問内容及び答弁は要約しています。

欠席

共和小 議員

職業体験の機会や施設の充実を

学校で職業選択の自由について学びましたが、実際はやりたい仕事が見つからない人も多くいると思います。働くことの良さや様々な職業について知ることができる施設があれば、市の産業に興味をもち、将来の担い手も増えると考えます。

▶ 教育長

田植えや稲刈り体験を行ったり、落花生栽培講習会を実施している学校もあります。また、職業について知るために、仕事について調べて発表会を行ったり、ある職業の方に学校に来ていただき話を聞いたりしています。

介護施設入所希望を叶えるために

旭市は他市に比べて介護施設が少なく感じます。そのため入所を希望しても入れない人がいるのではないのでしょうか。入所希望を叶えるためにどのような対策があるのでしょうか。

矢指小 議員

▶ 高齢者福祉課長

市内には17の介護施設があり、近隣市と比較しても充実しているものと考えます。希望を叶える取り組みとしては介護支援専門員等が入所希望者の体の状態や家庭の状況を見ながら対応しています。

学校跡地を特色ある公共施設に

大切な思い出がいっぱいつまった学校の跡地を利用して、公共施設の建設を提案します。海側なら海に来る人達のための宿泊施設等、山側ならキャンプ場等をつくり来てよかったと思える場所になってもらいたいと思います。

鶴巻小 議員

環境美化への取り組みは

登下校の際にごみが落ちていたのをよく見かけ、拾って帰ることもあります。市ではごみのポイ捨て防止、きれいなまちづくりのためにどのような取り組みをしているのでしょうか。

豊畑小 議員

▶ 市長

立地条件を生かした施設、とても良いアイデアだと思います。これから学校再編を進めるうえで、それぞれの立地の特性を生かし、市の魅力を最大限に活用できるような、まちづくりにつなげていきたいと思っています。

▶ 環境課長

春と秋にゴミゼロ運動、夏に海岸清掃といった美化活動のほか、ポスターや標語を募集し表彰する等、環境意識の育成や啓発に努めています。また、ポイ捨て防止の警告看板の設置等も行っています。

ICTを活用したまちづくりを

市のさらなる活性化を図るためICTを活用し、観光や農産物等の地域資源を掘り起こし発信すれば、市の魅力を全国の人たちに知ってもらうことができ、子どもや若者が集まるまちになるのではないのでしょうか。

嬰鳴小 議員

通学路の危険な坂の改善を

私が毎日登下校する坂は歩行者用の白線がなく、車とすれ違う時ぶつかるのではないかと危険を感じます。歩行者用の白線の整備、坂の枝の伐採、ガードレールの修復を行ってほしいと思います。

滝郷小 議員

▶ 企画政策課長

特産品、イベントやロケ地情報等をフェイスブックやインスタグラム等を活用し、発信しています。今後も旭市の魅力を全国に発信することで、人が集まるまちを目指していきたいと思っています。

▶ 建設課長

確認したところ、一部区間を除いて白線が設置されていませんでしたので、設置を進めていきます。通学路の枝については優先的に対応し、ガードレールも順次修繕工事を進め、安全対策に努めていきたいと思っています。

PR活動による市の活性化を

旭市は魅力的なまちだと思いますが、知名度が高くありません。市をもっと全国の人たちにアピールできないか考えています。知名度アップのため僕たちにできることを教えてください。

飯岡小 議員

コミュニティバスの運行見直しを

僕は、よく父と電車で出かけますが、銚子へ行く時に飯岡駅のホームで待っていると発車の3分前にコミュニティバスが到着し、電車に乗る人が間に合うのか心配になりました。そこで、コミュニティバスの運行時間やルートの見直しを提案します。

三川小 議員

▶ 企画政策課長

家族やお友達と旭市が出ている番組についてお話ししたり、市外に行かれた際に機会がありましたら「あの番組に出ていた旭市から来ました」と言っていただくと市のPRになりますので、是非お願いします。

▶ 企画政策課長 駅への到着時刻は主に通勤通学時間を考慮して定めています。運行時刻やルートについては、毎年検討し見直しを行ってきましたので、今後も利用者の意見を参考に、みんなが使いやすい公共交通を目指していきます。



萬歳小 議員

移住者を増やす取り組みを

空き家をリノベーションし、移住してくる人たちに安く貸し出したり、泊まったりしてもらうのはどうでしょうか。コロナ禍の生活で田舎暮らしに注目が集まっているので、移住者を増やすのではないのでしょうか。

▶都市整備課長

4月から空家・空地バンクという制度を始めています。これは、空き家を利用したい人と持っている人の橋渡しをする制度で、制度を利用するとリフォーム費用の助成を受けることもでき、空き家を自分好みにできます。

旭市を農業で有名にしよう

農業が盛んな旭市ですが、授業で農業をする人が減っていることを知り驚きました。そこで農業体験施設をつくったり農業体験イベントを実施する等、市の自慢である農業を生かして旭市を有名にすることを提案します。



中和小 議員

▶農水産課長

市内の農業体験施設としては、申し込みをすると1年間野菜等を栽培できる市民農園を設けています。イベントとしては、田植えや生き物調査、稲刈り、収穫祭等の農業体験を行う米づくり交流事業を行っています。

障害者の方々が笑って暮らせる市に

市では障害者の方々のためにどのような方策を考えているのでしょうか。市に住むすべての方が心から笑って暮らせるように、重点的に取り組むべきと考えていることを教えてください。



第一中 議員



古城小 議員

様々な人が住みやすいまちづくりを

旭市は外国の方が多く働きに来たり、住んだりしています。日本語が得意ではない方が生活をする中で困ることがないように、外国語での音声案内を公共施設等で流したりすれば、安心して生活できると思います。

▶市民生活課長

住所異動等で外国の方が毎日来庁されます。窓口には翻訳機を設置し対応していますが、外国語の音声案内は対応できていません。今後も議員提案のサービス等を参考に住みよいまちづくりを目指していきたいと思います。

▶社会福祉課長

重点的な取り組みとして、障害のある方が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、地域全体で支えるサービス提供体制の整備に取り組んでいます。時代や社会の変化に対応した施策を実行してまいります。



海上中 議員

学校へ通えない子の支援を

教室に行けない子どものために同じ状況の人が集まる場所を作るのはどうでしょうか。学校に行きやすく、行きたくなる環境づくりが必要だと思います。市のお考えをお聞かせください。

▶教育総務課長

市では学校へ行けない子どもたちのために、学校教室へのステップの場、学習する場としてフレンドあさひを開設しています。これからも、学校に行きやすく、行きたくなる学校環境づくりに努めてまいります。

旧市役所跡地の使い道は

旧市役所跡地はどのように活用する計画で、工事等はいつ頃行われるのでしょうか。もし、活用用途が定まっていなければ、第二中の送迎場所として利用させていただけないでしょうか。



第二中 議員

▶都市整備課長

跡地は「天神公園」と言い、今後、整備していく計画ですが、具体的にはまだ決まっていません。整備までの間は、送迎場所としてご利用いただいて構いませんが、安全に留意するようお願いいたします。

廃校の施設化を

グラウンドを使った植物園や教室を使った宿泊施設等、廃校を楽しめる施設にすることで人が増え、過疎化を打破できるかもしれません。思い出のある学校が廃校になってしまうのはとても悲しいです。ご検討をお願いします。



干潟中 議員



飯岡中 議員

不法投棄の対策にごみ箱を

本校では美化活動等で大量のごみを回収しており、不法投棄対策が必要だと感じています。そこで、ごみ箱の設置を提案します。ごみ箱を設置すれば面倒くさくて不法投棄する人が減ると思います。ご検討をお願いします。

▶市長

近隣市町村では、キャンプ等もできるグランピング施設や宿泊施設等に活用しているところもあります。地域の皆さんと話し合い情報収集し、皆さんに喜んでもらえるような施設となるように取り組んでまいります。

▶環境課長

ごみ箱を常設することで、ごみ拾いといった清掃の軽減等、様々な効果が望めると思いますが、自分で出したごみは持ち帰ることが本来の在り方であると考えますので、ごみ箱を常設することは、難しいところです。

議案審議

会期 6月8日～6月27日(20日間)

市長提出議案

- 予算案件 …………… 2件
- 条例案件 …………… 5件
- 人事案件 …………… 22件
- その他案件 …………… 1件

この定例会には、令和5年度一般会計補正予算、条例の一部改正、人事案件、専決処分の承認など30議案が市長より提出され、いずれも原案のとおり可決・同意・承認されました。

議案
第1号

令和5年度旭市 一般会計補正予算

第1子と第2子の給食費を 8か月分無償化

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、市内小・中学校の児童・生徒のうち、第1子、第2子にかかる令和5年7月から令和6年3月までの給食費8か月分を無償化。

問 無償化となる児童・生徒数は。

答 当初からの第3子以降無償化分で654人、今回の第1子と第2子無償化分を加えると4406人。



市外の小・中学生等へ給食費 相当額を給付

市内小・中学校の給食費無償化に合わ

せて、市外小・中学校及び特別支援学校に就学する児童・生徒の保護者に対し、学校給食費に相当する額を給付。

問 市外に通う児童・生徒の内訳と推移、傾向は。

答 特別支援学校70人、公立36人、私立27人、合計133人。過去3年間の推移としては微増となっている。

就学前児童へ3万円を給付

新型コロナウイルス感染症対策に伴い、自宅などで就学前児童の育児や見守りを余儀なくされた子育て世帯の経済的影響の緩和を図るため就学前児童1人につき3万円を給付。

問 対象を未就学児とした理由と1人3万円とした根拠は。

答 対象については小・中学生への学校給食費の無償化実施に合わせ、保育所等の給食費無償化も検討したが、保育所等へ通っていない児童もいることから全体をカバーするために、令和3年に実施した給付金を支給することとした。また、金額については国からの交付金を最大限生かせるよう、前回の給付額を考慮し決定した。

問 高校生への支給は考慮しなかったのか。

答 高校生に対する支援についても検討したが、今回は小・中学生の給食費無償化に沿った形で小さなお子さんのいる家庭を支援することとした。

住民税非課税世帯等へ 3万円を給付

国の電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援地方交付金が増額されたことから、物価高騰による負担増を踏まえ、特に家計への影響が大きい住民税非課税世帯等に対し、1世帯あたり3万円を給付。

議案
第4号

教育委員会 教育長の任命

現教育長の任期が本年8月18日に満了するため、後任の教育長を任命するにあたり、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第4条第1項の規定により、議会の同意を求める。

問 教育長の後任人事について、任命に至った経緯は。

答 これまでの教育行政への関わり、経歴、人柄、教育に対する深い識見から向後氏が適任であると判断した。

問 新教育長に期待することは。

答 現教育長がしたように、教育委員会の会務を総理し、教育委員会を代表するとともに、具体の事務を執行する教育行政の第一義的な責任者としての責任を果たしてもらいたいと期待している。

常任委員会審査Q & A

議案や請願・陳情を分野別に各委員会に振り分け、専門的に審査をします。審査後は、賛成・反対を決め、本会議で報告します。

建設経済常任委員会

今回の議案・請願には、建設経済常任委員会が所管とする分野がなかったため、委員会は開催されませんでした。

文教福祉常任委員会

令和5年度旭市一般会計補正予算の議決について(議案第1号)

Q 給食の食材について、旭市産、千葉県産を優先して使用しているとのことだが、物価高騰の中で購入先の決定方法は。

A 見積もり合わせを行い、一番値段の安いところから買うのが基本。ただし、牛乳やお米等は年間単価契約している。

Q 農薬を使わない食材による給食の提供はできないか。

A 千葉県内でも農薬を使わないお米を給食に使うことを実施している市があり、農薬を使わない有機野菜を子どもの健康のためにも進めたいという思いが多くあるのは承知している。ただ、旭市では1日に5000食を作る

ので、食材を揃えるのが難しく、金額も高額になることもあり、踏み切れないでいる。今後の検討材料とさせていただきます。

旭市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例及び旭市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について(議案第2号)

Q 内容としては厚生労働大臣を内閣総理大臣に改めるものだが、なぜ改める必要があったのか。

A 保育の基本的な事項や順守すべき保育の内容等を定めた「保育所保育指針」をこれまでは厚生労働大臣が出していたが、子ども家庭庁設置法等

の施行に伴い、国が指針を出すのを内閣総理大臣に変更したので、市の条例も同様に改める必要がある。



第二給食センターを視察

審査結果

委員会付託の3議案について、議案第1号については賛成多数で、その他議案は全員賛成で原案のとおり可決、承認。請願2件について、全員賛成で採択。

総務常任委員会

旭市火災予防条例の一部を改正する条例の制定について(議案第3号)

Q 消防本部への届け出の対象となっている、全出力50Kwを超える電気自動車の急速充電設備は市内に設置されているのか。

A 現在消防本部への届け出はない。届け出対象外の全出力50Kw以下の充電設備については、道の駅季楽里あさひやショッピングセンター、ホテル等の駐車場に設置されている。

Q 一般家庭用の20Kw以下の充電設備が増えてきているが、今後定期的な検査等が義務付けられるのか。

A 20Kw以下の家庭用の充電設備については、安全性が確保されていることから、消防本部での検査等はな

く、今後行うということも聞いていない。**専決処分の承認について(旭市税条例の一部を改正する条例)(議案第27号)**

Q 令和6年度から、森林環境税を1人1000円収める場合、現状で賦課される金額はいくらか。

A 令和5年度の市県民税の均等割を賦課した人数が3万3219人なので、令和5年度ベースで3321万9000円になる。

工事請負契約の締結について(防災行政無線線改修工事)(議案第30号)

Q 改修することで電波状況改善のほか、戸別受信機の機能付加等はあるのか。

A 文字放送可能な戸別受信機を聴覚が不自由な方へ配布する予定。



聴覚が不自由な方へ配布予定の文字放送可能な戸別受信機のサンプル

審査結果

委員会付託の5議案について、全員賛成で原案のとおり可決、承認。

令和5年第2回定例会 審議結果一覧

賛否が分かれた議案等と審議結果

○=賛成 ×=反対 議=議長 ※議長は採決に加わりません。

議案番号	件名	議決結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
			常世田正樹	伊藤春美	菅谷道晴	戸村ひとみ	伊場哲也	崎山華英	永井孝佳	井田孝	島田恒	片桐文夫	遠藤保明	林晴道	宮内保	飯嶋正利	宮澤芳雄	伊藤房代	向後悦世	景山岩三郎	木内欽市	松木源太郎
市長提出議案																						
1	令和5年度旭市一般会計補正予算の議決について	可決	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○
30	工事請負契約の締結について(防災行政無線改修工事)	可決	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	×

全員賛成で議決した議案等

- 議案2 旭市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例及び旭市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案3 旭市火災予防条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案4 旭市教育委員会教育長の任命につき同意を求めることについて
- 議案5 旭市教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて
- 請願1 「義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書」採択に関する請願
- 請願2 「国における2024年度教育予算拡充に関する意見書」採択に関する請願
- 発議1 義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書の提出について
- 発議2 国における2024年度教育予算拡充に関する意見書の提出について

- 議案6-8 旭市固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて
- 議案9-25 旭市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて
- 議案26 専決処分の承認について(令和5年度旭市一般会計補正予算)
- 議案27 専決処分の承認について(旭市税条例の一部を改正する条例)
- 議案28 専決処分の承認について(旭市都市計画税条例の一部を改正する条例)
- 議案29 専決処分の承認について(旭市国民健康保険税条例の一部を改正する条例)

人事案件

議案第4号から25号までの人事案件について、以下の方々が議会で同意されました。※議案順

〈議案第4号〉教育長 向後依明(飯岡) 〈議案第5号〉教育委員会委員 平野勝久(後草)
 〈議案第6-8号〉固定資産評価審査委員会委員 高根雅人(口)、嶋田一豊(三川)、佐藤一則(飯岡)
 〈議案第9-25号〉農業委員会委員 加瀬政夫(琴田)、伊藤茂雄(三川)、大越義昭(三川)、高橋勤(川口)、川口誠一(米込)、岩岡喜久男(萬力)、林正明(二)、木村悦子(清和乙)、加瀬茂(埜)、鷺山敦美(西足洗)、嶋田明範(見広)、安藤育生(幾世)、鈴木京子(足川)、浪川勝子(後草)、飯嶋伊千良(琴田)、岩崎傳一(入野)、渡邊茂(溝原)

討論

〈議案第1号〉

反対 崎山華英議員

学校給食費の支援にとらわれ過ぎて、物価高騰全体に対する影響を受けた生活者の支援が、狭い視野で検討されているように感じる。物価高騰は食費以外にも大きな影響を与えており、一番のおおきくを受けているのは高校生のいる世帯だと考えても過言ではない。物価高騰に対する交付金の活用方法に高校生が含まれないことに合理的な理由が見つからず、支援のきめ細やかさにかけてと判断したため、反対する。

〈議案第30号〉

反対 松木源太郎議員

要求水準書の中には議会で説明する事項が多くあったが説明をしていない。電波の問題等についても説明不足で、議会に対し十分な説明をしないまま提案をしているため、反対する。

反対 戸村ひとみ議員

1点目、公募時の予算と契約金額との差が2億円以上あり、予定価格の積算根拠が疑われる。2点目、評価基準の配点が開示されないままでは十分な審議ができず議員の責務を果たせる状況にない。以上2点を根拠に、反対する。

一般質問

一般質問とは、本会議で議員が行う市政全般に関する質問です。旭市のさまざまな課題などについて、市の考えを聞き、説明を求めます。主な質問と答弁の要旨は次のとおりです。



水道事業について

問 既存給水管で、容量不足により新規引き込みができない箇所がどれくらいあるのか。

答 詳細な地域は把握していないが、昨年度水量不足による配水管等の増径が必要と回答した地区は、旭地域で12地区、海上地域で3地区、飯岡地域で2地区、干潟地域で1地区となっている。

問 集合住宅の建設や宅地分譲は、旭市に移住される方々への住まいの提供にもなる。水道事業ビジョン及び水道施設耐震化計画に基づいているとのことだが、そういう計画に対して後れを取っているのではないか。現状は移住を勧めながらも、インフラの整備が間に合っていない。水道事業ビジョン及び水道施設耐震化計画を見直す考えはないのか。

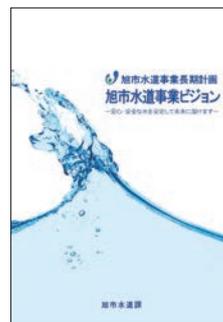
答 必要に応じて適宜見直しを行う予定。水道事業ビジョンでは、経営基盤を強化し将来に続ける「持続」、安心しておいし



井田 孝 議員



く飲める水道水を供給する「安全」、災害による被害を最小限にとどめる「強靱」を基本方針としており、当面の間は、この基本方針を実現するべく尽力したい。移住の促進も重要な施策の一つなので、関係課と協議しつつ、移住促進のための各種インフラ整備の方向性について検討していきたい。



水道事業ビジョン表紙

バリアフリー化について

問 大原幽学記念館はスロープ等があり、建物自体はバリアフリー化されているが、北側駐車場から記念館に行くには急傾斜の階段や園路があり、高齢者の方等は行きにくい。多くの人が行きやすいような整備はできないのか。

答 今年度、記念館北側の進入路や駐車場等の整備を進めている。今後も高齢者や障害者等が円滑に利用できるよう、バリアフリーに配慮した駐車場や園路等の整備を進めていきたい。

その他の質問事項
○投票率について



島田 恒 議員



文化財の保護と活用について

問 市内の指定文化財の件数は。

答 国指定が2件、県指定が14件、市指定が114件。合計130件。地域別では旭地域23件、海上地域47件、飯岡地域10件、干潟地域50件。合併後の指定は1件で平成20年に太田のエンヤールホーが県指定に追加されている。

問 文化財の教育現場での活用状況について伺う。

答 郷土の偉人や文化財、伝統文化等については、社会科学副読本の中で、椿の海の干拓に尽力した鉄牛和尚、農村を豊かにした大原幽学、さつまいもの苗作りを広めた穴澤松五郎、落花生を広めた金谷総蔵、祭り等について取り上げている。

問 観光や地域振興にどのように結び付けていくのか。

答 観光物産協会において御朱印のお城版として御城印事業を実施。椿の海を舞台とした周

遊ツアーに山城めぐりを組み込む等新たな魅力の掘り起こしとして文化財を活用している。

問 文化財のデジタル化への取り組みについて伺う。

答 ホームページでの文化財の紹介、文化財の説明看板にQRコードを入れ、詳しい情報にアクセスできる取り組みを進めている。また、重要なものや劣化が著しいものから順にデジタル化を進め、将来的にはオンラインの文化財ポータルでの公開を目指す。

デジタル田園都市国家構想について

問 本構想に基づく農業生産の効率化、地域産業の振興、観光振興の更なる展開について伺う。

答 「千葉県スマート農業推進方針」に基づき、農業の持続的な発展を目指した、スマート農業を推進し、農業者に対する相談受付や国・県補助事業の紹介、申請書の作成支援等を行っている。昨年度から実施しているユーチューブインストリーム広告について、今年度は冬季向けの動画を作成する予定。さらにインスタグラムによるネット広告を活用することで、全国に向けて旭市を発信し、さらに幅広い世代の新規観光客の獲得に努めて行く。

水道事業の広域連携について

問 検討状況及び今後の取り組みを伺う。

答 銚子市、東庄町と広域連携に関する研究会を立ち上げ、令和元年度より調査・研究を重ねてきた。銚子市、旭市、東庄町によって構成される東総ブロックでは、末端給水事業のみの広域化では効果が限定されるという共通認識の下、用水供給を担う東総広域水道企業団を加えた4団体による水道事業統合・広域化の検討会を設置し、検討を進めている。

問 4団体による検討会を設置した狙いとメリット・デメリットは。

答 広域化の狙いはより大きなスケールメリットを生かした事業展開が可能になること。メリットは人材、資金、施設等の経営資源の有効的な活用により、経営の効率化・基盤強化、災害・事故の緊急対応力の強化、職員の経験や専門知識の蓄積によるスキル

向上が考えられる。デメリットは、異なる料金体系の統合、浄水場を含めた施設の統廃合の調整が難しいことが考えられる。

消防広域化及び共同化について

問 どのような事業を行っているのか。

答 平成25年4月1日より、千葉県北東部・南部ブロックの20消防本部で構築した「ちば消防共同指令センター」の運用が開始され、通信指令業務を移行し、共同化したこと、業務の効率化、各消防本部との連携、情報の共有が可能となり、相互応援体制が強化された。

問 首都直下地震や南海トラフ地震等の広域にわたる被害が想定される大規模自然災害に対しての体制は整っているか。

答 全国規模の災害派遣体制であり、旭市に大きな被害が発生した場合は、全国より緊急消防援助隊が出動する体制が構築されている。また、首都直下地震、南海トラフ地震については、計画が定められ、応援体制が構築されている。その他の質問事項
○ 新型コロナウイルス感染症対策について

QRコードを読み取ると、質問した議員の録画映像がご覧いただけます。



崎山 華英 議員



5類移行後の活動の考え方は？

問 これまで新型コロナウイルス対策として市内イベントや学校行事の縮小・中止が相次いできたが、5類となった今後はどのように考えているか。

答 今後は市民と事業者、市が一体となったチーム旭でコロナ前に勝る、人と人とのつながりや交流が図れるようなイベントや学校行事の開催を目指したい。

病中児保育の実施について

問 核家族が増えている中で幼児を育てる親の就労支援として病中児対応保育は必須と考える。市内小児科の減少も課題となっている状況を加味し、病中児保育併設の小児科を誘致することはできないか。

答 市内小児科医が減少していることは課題であると認識しているが、県全体でも小児科医が不足しているため病児対応型の小児科クリニックの誘致は大変難しいと考える。病児保育は病院併

設型・保育所等併設型のどちらも医療機関の協力が不可欠なため実施は難しいが先進事例を参考にしながら調査・研究していきたい。

ランドセル以外の選択肢は？

問 ランドセルについて、近年価格が高騰していることで家庭に大きな負担がかかるだけでなく、重さにより子どもへの健康被害が起こった事例もある。最近ランドセルよりも安くて軽い通学用バッグとの選択制が増えてきたようだが、本市の小学校で使用が認められているランドセル以外の通学用バッグはあるか。あるならもっと周知できないか。

答 市内小学校では児童の安全面を重視しながらランドセル以外のバッグについても相談に応じている。現在も通学時に学用品が入り、両手の自由が利くリュック型バッグや箱型バッグ、デイバッグ等は使用可能としているので、入学説明会の資料等で保護者へ周知できるように検討していきたい。

その他の質問事項

- コロナ禍の移住促進について
- 学用品準備の負担軽減・就学支援について
- 未成年の性被害について

協働の促進について

問 区や自治会への加入率は、世帯が増加しているのにも関わらず、直近5年間で3・9%も減少し、令和4年4月の時点で59・4%になった。4割以上の市民が区等に加入していない現状から、今後も区等を通ける必要性があるのかと疑問を感じる方が多い。私は区や自治会は続けるべきであると考え。震災や災害等の非常時に行政からの指示や援助を受けける組織として必要不可欠であると思う。しかし、今のままでは若い世代の方には受け入れられない。今後も組織を維持継続していくのであれば、推薦する役員の人数を減らしたり、報酬制にしたりする等の対策が必要であると考え、市長の見解を伺う。

答 区等の地域コミュニティの醸成が旭市全体の活力の源になると考えており、将来に向けて存続すべき組織であると強く思う。区や自治会の在り方も時代の変化に合わせて対応できるように、市としてもサポートに努める。

居住環境の充実について

問 銚子連絡道路の開通が現実になり、市民の交通の利便性向上、物流の円滑化、観光客の増加等、大いに期待がもてる。豊畑地区に開設されるインターチェンジ周辺の土地利用について、どのような状態にするのが本市にとってベストなのか。農地のままが良いのか、開発を進めていくのか、この地域をどうデザインしていくか、どう活用していくかで旭市の未来が決まるといっても過言ではない。早急に検討委員会等を立ち上げて取り組むべきであると思うが、見解を伺う。

答 銚子連絡道路の匝瑳市旭市間は令和4年度に事業化されたばかりで、開通が令和13年度の予定である現時点では、具体的な整備計画はなく、検討委員会等の設置予定もないが、県からの助言、他自治体の状況や取り組みを参考に開発や委員会等の必要性について研究していく。

その他の質問事項

- 多世代交流施設おひさまテラスのこれまでの実績と今後の展望について



常世田 正樹 議員





飯嶋 正利 議員



マイナンバーを健康保険証として利用する場合の安全対策について

問 全国でも人的ミス等が出ており、法律の整備も追いついていないと感じる中、現在の状況を伺う。

答 マイナンバーについては紐付け等のミス等の報道がかなりあったが、現在使用されている紙の被保険者証については、なりすまし等による不正利用の報告は受けていない。

学校給食の完全無償化について

問 無償化を実施している他の自治体で財政調整基金を切り崩しているところはない。他の財源を回したり、マイナスイリテック等で実施していると思う。また、旭市は給食費滞納者が少ないことから、給食に対して理解をいただいていると思う。であれば、食の宝庫だといわれる旭市で、全国に先駆けてカロリーベースではなく、見た目にも素晴らしい給食

を提供することも大事だと考える。

答 担当栄養教諭が子どもたちにおいしく食べてもらえるよう工夫を凝らして、給食を作っている。PRとしてフェイスブック等で給食を作っているところを写真つきでお知らせしている。



旭市フェイスブックより

新型コロナウイルス感染症について

問 ワクチン接種について、春開始接種の状況と秋以降も接種があると聞いているが、その準備について伺う。

答 春開始接種は5月8日から8月31日の期間で重症化リスクの高い方、医療従事者等を対象に実施。6月10日現在で65歳以上の予約済みが8066人で予約率42・5%、うち接種済みが1743人で接種率9・2%。秋接種については、初回接種が済んでいる5歳以上のすべての方が対象で、9月以降の実施を予定している。

学校教育の充実について

問 教員はどんなに時間外労働をしても残業代が支払われない代わりに給与月額4%がみなし手当として一律に支給されている(教職調整額)。そのため定額で働かせ放題となり、長時間の残業につながっていると思われる。教員の労働環境を改善しないと教員不足は解消しないと考えるが見解を伺う。

答 教職調整額については、現在在文部科学省の中央審議会で諮問されていることから国の動向に注視していきたい。市としては働き方改革実行委員会を組織し、教育現場の声を聞くとともに、教育補助員の増員や校務のデジタル化等働き方改革に努めている。

問 定額で働かせ放題の制度がある限り労働環境の改善は難しいと思う。この声を国に届けてもらえないか。

答 中央審議会での「教員の処遇改善」「働き方改革」学校の

体制充実」について検討された。具体策がまとめられる予定になっているので、今後も国の動向を注視したい。

協働の促進について

問 寄付金や分担金等、区に加えている費用があるが不公平感の解消策がないか伺う。

答 区としては区の役割や活動を理解してもらえよう努力し、市としても分かりやすいパンフレットを作成する等、区の入促進運動のサポートを継続していく。加入に結びつくことが不公平感の解消につながるものだと考える。

問 各種寄付金は大切なものだが区の運営が厳しい場合は寄付金額を減額しても仕方ないという認識でよいか。

答 募金や寄付等は社会貢献活動の一つであり積極的に参加をお願いしたいが、任意なので区民の総意であれば減額も仕方ないと思う。

その他の質問事項

- 消防組織体制の充実について
- 漁港エリアの有効活用について



永井 孝佳 議員



QRコードを読み取ると、質問した議員の録画映像がご覧いただけます。



伊場 哲也 議員



AI(人工知能)の活用について

問 質問に応じて自然な文章を作成する対話型AI「チャットGPT」の活用について市と教育委員会の見解を伺う。

答 現在、市の行政事務の処理情報、正確性等の問題に注意して使用すれば事務の効率化に有効である。教育委員会では、小・中学校の情報モラル教育を活用しながら、チャットGPTを含め、児童・生徒が適切にインターネット環境等を活用できるよう、国の動向を注視しながら取り組んでいく。

沖縄交流事業・茅野市児童交流事業の促進について

問 4年ぶりの実施で新たに取り入れた点や変更した点は。

答 沖縄交流の参加児童数を学校規模に応じて募集。事前説明会に保護者も参加してもらい、理解を深め、問い合わせをなくし学校の負担を軽減。茅野市との交

流事業は、学校の輪番制を廃止し、チラシにより募集を行い学校の負担をなくした。姉妹都市の一層の親善を図りたい。

商工業の振興について

問 既存企業への支援について、支援状況と雇用の増加を図る取り組みを伺う。

答 中小企業金融対策事業、制度融資利子補給事業を通して、市内の中小企業の振興を図っている。旭市企業誘致及び雇用の促進に関する条例に基づき、固定資産税の免除や雇用等に奨励金を交付し、既存企業の設備投資の促進や雇用の創出を図っている。

市長のまちづくりの方針について

問 東総地域の発展・観光等における広域連携の推進について、進捗状況の評価を伺う。

答 観光物産協会が、樺の海をテーマにトークショー等を開催。千葉県サイクリング協会が旭市を発着点とし観光スポットを巡る事業を開催。今年2月、人口減少の緩和・地域内経済循環の実現等を図ることを目的として、十九里地域市町村連携チームを設立。よりよいまちづくりや課題解決につながることを期待している。

災害に強く環境のよい旭市に

問 線状降水帯による豪雨や台風被害が予測された場合、避難所開設はどのくらい前に決定、周知されるのか。

答 避難指示のタイミングが深夜、あるいは明け方等と見込まれるときは、状況が悪化する前に避難所開設を決め、防災行政無線等を通じて開設の案内をする。6月の大雨ではピーク時の概ね半日前に開設の案内を行った。

問 再生可能エネルギーの主力電源力に期待される次世代のペロブスカイト太陽電池が実用化された際は、先進的事例として設置はできないか。

答 研究成果を見据えつつ、太陽光発電設備を設置する際には検討していきたいと考えている。

問 大規模災害時は、トイレ環境に様々な課題がある。移動式のトイレトレーラーの導入はできないか。

答 大規模災害時は、トイレ環境に様々な課題がある。移動式のトイレトレーラーの導入はできないか。

答 災害時のトイレ対策として携帯型や簡易型のトイレの備蓄がある。導入ではなく事業者との協定締結での運用の可能性は考えられる。

市民の暮らしを詐欺被害から守る

問 電話de詐欺の県内の年齢別の被害人数は。

答 令和5年の4月末現在で、80歳以上237人、70歳代125人、60歳代93人、50歳代9人、40歳以下6人、合計470人。



問 詐欺被害の9割以上が65歳以上の高齢者。希望者に対し、電話に装着する詐欺対策用の簡易型自動録音機「録音チュー」の無料配布はできないか。

答 現在のところ予定はないが、今後の被害防止を行う上で検討していきたい。



伊藤 春美 議員





松木源太郎 議員



外出支援サービス事業について

問 昨年度まで、外出支援サービスは社会福祉協議会への委託で利用回数は週1回まで、利用範囲は市内、利用料金は、市民税非課税世帯の者片道100円、課税世帯の者片道300円だった。令和5年度から、介護タクシーの利用助成にかわり、その利用額の負担が、地域によっては大きくなったが対策は。

答 今年度から、利用券制度に成で1か月あたり8枚、年間最大96枚交付される。今後利用者の声を聴き見直しを図っていききたい。

学校再編について

問 旧干潟地域の3小学校で「地域検討会議」を開催するが、内容と予算について伺う。

答 古城小学校を統合校の候補とし、委員に会議1回6千円の報償費を計上。会議は年間5回開催予定で、干潟地域3校だけ

で委員約75名、年間で225万円を計上している。

都市計画区域の見直しについて

問 令和8年度に都市計画決定を目指しているが、都市計画審議会の審議状況は。

答 平成22年3月作成の旭市都市計画マスタープランでは、市の地域全域への拡大としている。都市計画区域の拡大は、最終的に県の都市計画審議会で決定される。市の審議会で決定するものではないが、都市計画の見直し支援業務を行うという報告をしている。

市職員の労働環境について

問 働きやすい環境で職員の能力を発揮することが、業務を進めるうえで重要である。

病気になるったり、精神を病んだり、ハラスメントに遭遇した場合、どのような対応をとっているのか。

答 ハラスメントに関する事案が発生した場合の相談窓口として「旭市職員のハラスメントの防止等に関する規定」により、

総務課等の職員が相談員となり対応し、その後事実関係を調査する。その他の質問事項

○ 効率的・効果的な行政経営について。

物価高騰対策について

問 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した生活者支援、事業者支援について、どのような事業を予定しているのか。

答 交付金を財源とした事業は、住民税非課税世帯等物価高騰対策給付金給付事業、就学前児童応援臨時給付金給付事業、市外小中学校等在学児童生徒臨時給付金、市内小・中学校の給食費8か月分の免除を予定している。

通学路の安全対策について

問 ドン・キホーテ旭店前国道126号に信号機の設置はできないか。

答 当該箇所は横断歩道は設置されているが、横断しづらいことを認識している。これまでも、道路管理者である海匠土木事務所へ信号機の設置を含めた安全対策を要望してきた。市としては当面の交通安全対策として横断旗

を設置した。信号機の設置について、旭警察署に対しても引き続き要望していく。

問 川口沼親水公園の東側道路付近の排水路に転落防止柵の設置はできないか。

答 転落防止柵の設置については、交通量や事故の発生状況を踏まえるとともに、水路管理者の維持管理作業等に支障が出ないか相談していきたい。

教育支援について

問 多様性への配慮を目的とした、性別を問わない新制服を導入する考えはあるか。

答 制服の取り扱いについては、各中学校の実情に応じ、学校の判断において行われている。性別を問わない新制服については、各中学校の考えを聞くとともに、様々な状況を勘案しながら研究していきたいと考えている。今後の学校再編において、新制服を導入する際には、性別を問わない新制服も考慮していきたい。

その他の質問事項

○ 学校給食費の完全無償化について
○ 自転車ヘルメット着用率の向上について
○ シルバー人材センターについて

QRコードを読み取ると、質問した議員の録画映像がご覧いただけます。



戸村 ひとみ 議員



「地域で子どもを育てる」 の意味について

問 飯岡中学校が海上中学校に吸収される計画に反対の立場での質問。市の学校教育方針のスローガンは「地域で子どもを育てる」。この「地域」とは何を意味するのか。旭市は1市3町が合併して、地域ごとに違う文化がある。この地域性が違う中で、学校統廃合と地域学校協働活動に整合性を持たせることができるのか。「地域で子どもを育てる」とはどういうことなのかを本気で考えるべきだと思っが。

答 地域で子どもを育てる意味については、地域学校協働活動を通じて子どもたちが信頼できる大人と多く関わりを持ち、愛情を注がれることにより、自己肯定感や他人を思いやる心など豊かな心を育むことができる。地域の人に支えられ、学んでいくことで、地域への愛着や地域の担い手としての自覚が育まれ、学びへの意識

学校給食完全無償化について

の向上が学力の向上に資することも期待されている。地域学校協働活動の事業に参加している子どもたちは、コミュニケーション能力や地域への理解・関心が高まる傾向があるとも言われており、活動に参画する地域住民の生きがいづくりや地域の教育力の向上や活性化につながることも期待されている。

問 『長岡市米百俵財団』と同じく、子育て支援に特化した財団の創設をイオンタウンに、市長から要望していただきたい。イオンタウンには旭市から、誘致時に5億円、さらに毎年約1億3千万円の指定管理料と家賃(おひさまテラス・イオンタウン旭2階)が30年契約で支払われている。市が賃借しているこの施設は、イオンタウンの集客に貢献している。市とイオンタウンの共存のために、イオンタウンに『子育て財団』を創設してもらい、旭市への寄付をお願いし、学校給食完全無償化の財源としてはどうか。

答 意見として承る。

その他の質問事項
○ 関係人口を増やす取り組みについて

議会運営委員会視察

委員会では、所管する事務に関する調査等のため、他の自治体の先進的な取り組み等について、行政視察を行っている。

7月26～28日 議会運営委員会で大阪府岸和田市・京都府八幡市等の行政視察を実施

岸和田市・八幡市の取り組みや施設を視察

大阪府岸和田市(視察内容：議会のICT化について)

岸和田市議会では旭市議会で今年度導入するタブレット端末を活用したペーパーレス会議システムを2020年に導入している。紙・印刷費用の削減に加え、資料が変更になった場合の差し替え等、作業工数の削減、合理化により効率的な議会運営が行われている。

タブレット端末の使用の範囲や故障時の対応、情報の漏洩対策等について、現在の運用状況を学ぶことができ、今後の旭市議会でのタブレット端末の導入にむけて参考になった。

京都府八幡市(視察内容：生涯活躍のまちについて)

八幡市では、市民が意識せずとも健やかで幸せに暮らすことができるまちの構築を目指し平成30年3月に「やわたスマートウェルネスシティ計画」を策定した。

計画に基づき、歩くことを中心とした健幸づくり活動に対してポイントを付与するインセンティブ事業や、AIを活用した健幸課題分析や施策立案を行うことができる健幸データ分析システムの導入等の先進的な取り組みを行っており、今後の健康づくりの推進の参考になった。



議会のICT化について説明を受ける



健幸まちづくりの今後の展開を伺う

その他の視察地

- さかい利晶の杜
- 京都市市民防災センター

1600km離れた姉妹都市と友好を深める

5月25日に姉妹都市の沖縄県中城村へ両市村の友好と親善を深めるため、表敬訪問を行いました。

中城村とは旧飯岡町が平成16年から友好交流町村として親交しており、平成24年に姉妹都市提携を結びました。現在は市内の小学5年生が、中城村を訪問するとともに、中城村からの訪問団を迎え入れ、交流を深めています。

中城村正副議長、各常任委員長と議長室で懇談し、今後の姉妹都市交流の進め方などについて協議を行ったほか、議場にて中城村議会伊佐則勝議長と旭市議会林晴道副議長とで、市旗と村旗の交換式を執り行いました。

姉妹都市として、ますます友好が深まったと同時に、中城村の政策的事業(子ども第三の居場所、ブライダル支援事業)の概要と議会運営のICT化等について学ぶことができ、非常に実りのある訪問となりました。



議会だより編集委員と懇談



村議会代表团と交流事業の協議



伊佐議長と中城城跡を視察

栃木県那須塩原市で定例会と視察研修会を開催

7月12、13日に栃木県那須塩原市で千葉県北総地区市議会正副議長会の定例会及び視察研修会が行われました。

千葉県北総地区市議会正副議長会は、県内北総地区11市の正副議長で構成され、地域的な共通の課題や行政の広域化に伴う問題について、お互いに意見を交換し、連携を強め、親善を図るため、結成されたものです。令和5年度は木内欽市議長が会長に就任しました。

定例会では、事業計画案等に関する審議等が行われました。

視察研修会では那須塩原市議会から議会改革(活性化)の取り組みについて、那須塩原市気候変動適応センターからは市の気候変動やその影響、適応策に関する取り組みについての説明を受けました。また、コンパクトシティや中心市街活性化等を実現するために整備された2施設「みるる」と「くるる」を視察し、市民の文化力向上や地域の賑わい創出等について学ぶことができ、非常に有意義な視察研修会となりました。

ここを視察してきました

- 那須塩原市図書館「みるる」
- 那須塩原市まちなか交流センター「くるる」



北総地区11市の定例会を開催



那須塩原市図書館「みるる」を視察

あさピーが解説

気になるあの用語



本紙で気になった用語を解説するよ！

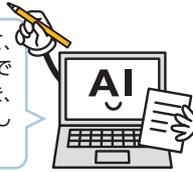
Q チャットGPTってな～に？ 掲載は12ページ

A 人間的な会話の成立を目指したコンピュータプログラムであるチャットボットのうち、海外企業が公開した人工知能チャットボットのこと。

GPTとは、簡単に言うとWeb上のデータをもとに学習することができる人工知能のこと。つまり、人間の質問に対して、学習したデータから、まるで人間のように回答をする。

会話だけでなく、詩や小説を書いたり、プログラミング、作曲をしたりすることもできる。

質問に対して、私が Web上で学習したことを、日本語で回答します。



Q デジタル田園都市国家構想ってな～に？ 掲載は9ページ

A 令和3年に発表された「デジタル実装を通じて地方が抱える課題を解決し、誰一人取り残されずすべての人がデジタル化のメリットを享受できる心豊かな暮らしを実現する」という構想。

デジタルの力で、地方の個性を活かしなら社会課題の解決と魅力向上を図り、「地方に都市の利便性を、都市に地方の豊かさを」を実現して、全国どこでも誰もが便利で快適に暮らせる社会を目指す。



9

月定例会の予定 (9月4日～9月27日)

日	月	火	水	木	金	土
9/3	4	5	6	7	8	9
	開会			議案質疑		
10	11	12	13	14	15	16
	一般質問	一般質問	一般質問 (予備日)	決算審査特別委員会	決算審査特別委員会	
17	18	19	20	21	22	23
		決算審査特別委員会 (予備日)	建設経済常任委員会	文教福祉常任委員会	総務常任委員会	
24	25	26	27	28	29	30
			閉会			

いずれも10時から開催予定です
日程は変更となる場合もありますので、ホームページ等でご確認ください。

永年勤続表彰

第99回全国市議会議長の定期総会で、市議会議員として20年以上在職し、市政の振興に努めた功績により、景山岩三郎議員が表彰されました。



景山岩三郎議員

議会中継をご覧ください

本会議は、インターネットで生中継と録画配信(過去5年分)を行っています。パソコンのほか、スマートフォンやタブレット端末でも視聴できます。ぜひご覧ください。



編集後記

長い夏休みも終わり、旭の学舎に再び子ども達の声に戻って来ました。生徒さん達はこの夏休みをどのように過ごしたのでしょうか。それぞれ貴重な思い出となるような時間を過ごせていたら幸いです。

一方、この夏休み中には、とても痛ましいニュースも数々ありました。川やプールの水の事故に加えて、熱中症による死亡という報道に胸が痛みました。山形県米沢市の中学生は、部活の帰り道に倒れて救急搬送されましたが、死亡。熱中症でした。

2学期に入ってから残暑が続く予報が出ています。お年寄りはもちろんのこと、生徒さん達も若いからと言って過信してはいけません。マスクを外して、水分補給を怠らず、熱中症に万全の対策をとることを願います。

(委員 戸村ひとみ)

旭市議会だより編集特別委員会

委員長 永井 孝佳

副委員長 井田 孝

委員 戸村ひとみ

委員 常世田正樹